

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社環境と開発

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念、ビジョン、ミッションを経営計画書に明示し、経営者は、経営計画書を社員に配布し会社のあるべき姿を共有し、質の向上に向けて努力している。 ・従業員は、自らの使命を理解し、ビジョン・ミッションの達成に向け邁進している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方を社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・事業を進める上で遵守すべき法令及び条例を理解し、法令を確実に遵守する体制を構築している。																	16
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向けその重要性を配信している。										10							16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・責任者を任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす影響を把握している。																	16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・研修や勉強会の受講体制が構築され、社内・社外の研修を自発的に受講できる仕組みがある。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩防止を徹底し、機密文書等の管理及び廃棄書類の処理を徹底している。																	16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客の声(苦情等)を大切にし、双方向コミュニケーションに努め、対応策や改善提案を積極的に行なう仕組みがある。															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・CO2排出量の削減をはじめとし地球環境や人権侵害等への配慮など、問題意識を持てるよう努めている。 ・再生可能エネルギー事業において、環境に配慮した設計の提案を行っている。				5			8	10	12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震や水害の経験を踏まえ、社内、社外へのリスク管理の啓発に努めている。 ・災害現場での廃棄物処理現場において、災害廃棄物の処理が適切に実施できるよう支援事業を実施している。 ・「事業継続力強化計画」策定済み。								9	11	13.1					16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ・新規雇用者に対する研修・教育体制を整えている。					5		8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5		8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用条件及び職場環境において差別しない体制・運営を推進している。 ・差別やハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる職場環境)実現に向けた管理職教育や啓発活動を実施している。		3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員への公正な待遇を行っている。					5.5		8.5	10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境が充実している。			3		5.5		8.5 8.8	10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している。				4	5.5		8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年健康診断を実施し経費補助を行い、従業員の健康管理に努めている。 ・新型コロナ感染防止等に関し、ワクチン接種に対し、特別休暇を設定し、社員の健康維持に取組んでいる。			3				8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇をしないよう人事評価制度を用いて環境整備に取組んでいる。				4.4	5.1 5.5		8.5	10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策として、テレワークの運用及び、ウェブ会議等を積極的に実施している。			3				8	9.1	11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・社員へのPC配付等IT投資によりテレワークを推進している。 ・テレワーク専用の従業員の雇用に取組んでいる。							8	9.1	11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4			8	9		12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社環境と開発

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・エコアクション21の取組みが標準化され、自己認証における取組を実施している。 ・廃棄物の分別、適切な処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気使用量を把握しており、削減に努めている。 ・エコドライブを推奨することで、ガソリンの消費量の削減に努めている。 新規社用車購入の際には、エコカーを積極的に導入している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		温室効果ガスの排出量を把握しており、削減に努めている。 ・エコドライブを推奨することで、温室効果ガスの排出量削減に努めている。 新規社用車購入の際には、エコカーを積極的に導入している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、エコパックの使用を推進している。 ・環境に配慮した材料、製品等の購入を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・排出するごみの分別を徹底し、収集業者にも分別した状態で回収を依頼し、リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる。 ・マイパック、マイボトル、マイ箸を推奨し、リユースの取組みを進めている。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水を推奨し、食器洗い洗剤も自然由来のものを使用し、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.8				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・備品等の購入時には、グリーン購入、リサイクル製品等を優先し、事業提案においても環境に配慮した提案に取り組んでいる。								9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・食品ロス調査事業等も受託し、食品ロス削減について社内でも啓発し、昼食等食べ残し削減に取り組んでいる。	1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・花壇や室内緑化など、緑の創出と保全、管理に努めている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事業活動において、再生可能エネルギー事業の支援に力を入れて取り組んでいる。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・開発を行う際には、持続的な森林利用を意識した計画を提案している。					6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・マイパックの推奨、ペットボトルの分別及び再資源化できる事業者への回収委託を行っている。											12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車を導入する際は、燃費効率の良い車両を選定するようにしている。								9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・エコドライブ、アイドリングストップに取り組み、CO2削減に取り組んでいる。 ・再生可能エネルギー事業の推進により、CO2削減に計画的に取り組んでいる。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社環境と開発

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・事業提案、設計等をする際に、廃棄物処理施設等は効率の良い機械・設備等の配置の提案を行うことや、再エネ発電所の事業提案では、環境や安全を意識した提案を行うことを心がけている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・商業施設等の周辺整備は、利用者が安全に利用できるよう必要に応じて、駐車場や周辺道路の改善を提案している。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●	●	・事業提案を行う場合は、BDFを重機等へ使用する等、地球温暖化対策を意識した提案を行うことを心がけている。						7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●	●		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・キッズセーフティマップ作成の支援や「発見たんけん熊本県中学生版」の作成支援など社会貢献活動に取り組んでいる。 ・当社が災害廃棄物処理に関与した被災地には、日赤経由で利益の一部を寄付している。 ・公益財団法人オイスカへ利益の一部を寄付し、農村開発や環境保全活動支援を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害廃棄物処理事業の支援及び災害への準備対応等の支援を事業活動に組み込み、積極的に事前防災対策などを社内、社外へ推奨している。 ・「事業継続力強化計画」策定済み。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの社内教育及び普及啓発活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・「発見たんけん熊本県中学生版」の作成支援を通して、職場体験、インターンシップの受入等の体制を整えている。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・新卒採用を積極的に行えるよう、求人を行い、地元の学生雇用を支援している団体との情報交換等を行っている。 ・公益財団法人ほしのわへ利益の一部を寄付し就学援助を行っている。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●	●		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。